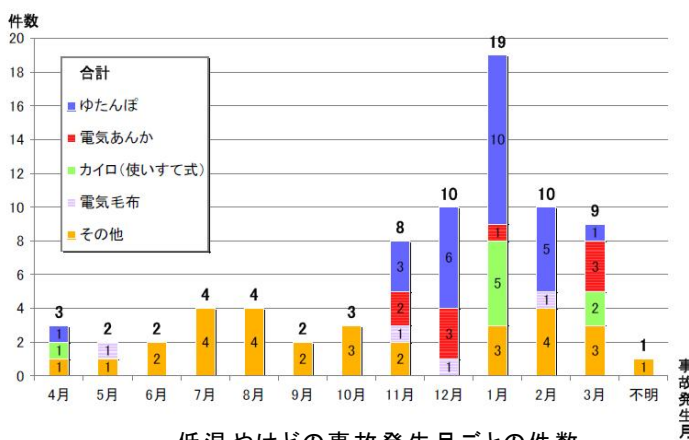


ゆたんぼ、使い捨てカイロ等でやけど！？

これから寒くなる季節を迎え、ゆたんぼ、電気あんか、電気毛布、使い捨てカイロなどを使用する機会が増えていきます。これらの製品は暖かく心地よいと感じる程度の温度でも、長時間にわたって皮膚に触れていると、やけどを起こす可能性があります。

独立行政法人製品評価技術基盤機構によれば、これらの製品によるやけどの事故は、1月に最も多く発生しています。



低温やけどの事故発生月ごとの件数
(平成8年4月～平成21年10月まで)

出典:独立行政法人製品評価技術基盤機構



⚠ やけどを防ぐためのポイント

- 1 同じ部位を長時間温めない
- 2 違和感や熱いと感じたら、直ちに使用を中止する
- 3 製品の取扱い上の注意を確認して、正しく使用する

皮膚の深いところにまでやけどを起こすと、重症になるおそれがあります。神経障害や皮膚の感覚が低下している方などは、受傷しやすいので特に注意してください。万が一、やけど(皮膚の変色や痛み)を起こしたら、直ぐに専門医の診断を受けてください。

【関連情報】

- 《「低温やけど」の事故防止について》 独立行政法人製品評価技術基盤機構
<http://www.nite.go.jp/jiko/press/prs09112601.pdf>
- 《ゆたんぼでの低温やけどを防ぎましょう》 消費者庁
http://www.caa.go.jp/safety/pdf/130227kouhyou_1.pdf